

Daily Report (号外)

～2月の米雇用統計について～

結果概要

米国労働省が3月8日に発表した2月の雇用統計は、非農業部門雇用者数が前月比+27.5万人と市場予想(同+20.0万人)を上回る結果となりました。

業種別では娯楽・宿泊業が+5.8万人(前月+0.8万人)、建設業が+2.3万人(同+1.9万人)と伸びが加速した他、輸送・倉庫業が+2.0万人(同▲2.9万人)と増加に転じました。前月伸びが加速した教育・ヘルスケアサービス業は+8.5万人(同+10.7万人)と前月からは減速したものの、増加が継続しています。失業率は3.9%と市場予想(3.7%)を上回り前月(3.7%)から上昇しました。平均時給は前年同月比が+4.3%と市場予想(同+4.3%)通りとなった一方、1月分は+4.4%(速報値+4.5%)に下方修正されました。前月比は+0.1%と市場予想(+0.2%)を下回り、1月分は+0.5%(速報値+0.6%)に下方修正されました。

労働参加率は+62.5%と市場予想(+62.6%)を下回り、前月から横ばいとなりました。

市場反応(米国市場)

8日の米国株式市場の主要3指数は揃って下落しました。

米雇用統計は、強弱入り混じるも過熱感の緩和をうかがわせる結果であったことから、米利下げ時期が後ずれすることへの警戒感が薄れ買いが優勢となる場面があったものの、半導体大手エヌビディア等テクノロジーセクターに利益確定売りが入り下落したことで、NYダウ平均株価は前日比▲0.18%、S&P500指数は同▲0.65%、ナスダック総合指数は同▲1.16%となりました。

米国債券市場は、非農業部門雇用者数が市場予想を上回ったものの、1月分が前月比+22.9万人(速報値+35.3万人)に大幅に下方修正されたことや失業率が上昇したことから労働市場の過熱感の緩和が意識され利回りは低下しました。一方で、翌週に国債発行を控えていることなどから低下幅は縮小し、10年国債利回りは前日比▲0.01%の4.07%程度で取引を終えました。

米ドル/円は、米雇用統計の結果などを受け6月利下げの可能性がやや高まったとの見方から小幅に円買い・ドル売りとなり、前日比99銭円高ドル安の147.06円/ドルで取引を終えました。



(期間)2023/1/1～2024/3/8 (出所)Bloomberg



評価・今後の見通し

2月の米雇用統計は、非農業部門雇用者数が予想を上回る一方、失業率は予想以上に悪化(上昇)、平均時給は予想を下回るなど、強弱入り混じる内容となりました。

また、1月分の非農業部門雇用者数については、2月の発表時には予想を大幅に上回っていたことからFRBの利下げ実施時期の後ずれが見込まれ、タカ派転換の可能性も意識されていましたが、今回大きく下方修正されたことで、労働市場の加熱感が和らいだ結果となりました。

市場が予想する利下げ時期は、24年3月のFOMCでの利下げを見送る確率は97%程度とほぼ大半を占めており、同年5月のFOMCでも利下げを見送るとの予想が67%程度と、堅調な雇用市場を背景に、FRBが早期に利下げに踏み切る可能性は低いとの見方が優勢です。

今後の株式市場の見通しとしては、短期的には3月12日発表の米CPI、同14日発表の米小売売上高、米生産者物価指数などインフレや景気動向に関連する指標のほか、3月19日～20日にかけて開催されるFOMCでのパウエル議長の発言、およびFOMC参加者の経済や政策金利の見通しに引続き注目が集まるものと考えます。

長期的には、FRBは市場の早期利下げ期待をけん制しつつ、慎重に金融政策を実施していくとみられることから、経済指標の強弱に左右されるボラティリティの高い相場が継続すると見ています。

また、今後インフレが思うように収束せず、政策金利が現状の水準にしばらくの間維持されるリスクや、米景気の急減速によりFRBが早期の利下げに追い込まれるリスクには警戒が必要と考えます。

Daily Report(号外)

(ご参考) 主要業種別雇用者数増減(前月比・万人)

出所: 米国労働省

	23/9	23/10	23/11	23/12	24/1	24/2
非農業部門	+24.6	+16.5	+18.2	+29.0	+22.9	+27.5
鉱工業部門	+2.7	-1.0	+3.6	+3.3	+2.4	+1.9
建設業	+1.3	+2.2	+1.5	+1.8	+1.9	+2.3
製造業	+1.3	-3.1	+2.5	+1.2	+0.8	-0.4
資源・鉱業	+0.1	-0.1	-0.4	+0.3	-0.3	+0.0
サービス部門	+16.9	+10.8	+11.6	+18.1	+15.3	+20.4
卸売業	+1.2	+1.2	+0.7	+0.7	-0.3	-0.1
小売業	+1.8	+0.1	-4.3	+3.2	+1.5	+1.9
輸送・倉庫業	+0.9	-0.9	-1.1	-1.8	-2.9	+2.0
情報	+1.1	-2.6	+1.7	+1.3	+0.6	+0.2
金融	+0.0	+0.0	+0.4	+0.6	-0.1	+0.1
専門・ビジネスサービス業	-0.1	-0.5	+1.0	+1.3	+4.0	+0.9
人材派遣業	-2.2	-2.3	-1.4	-2.1	-0.1	-1.5
教育・ヘルスケア業	+8.1	+7.7	+11.0	+8.4	+10.7	+8.5
娯楽・宿泊業	+2.7	+5.7	+1.0	+4.1	+0.8	+5.8
その他	3.3	2.3	2.5	2.4	1.1	2.7
政府部門	+5.0	+6.7	+3.0	+7.6	+5.2	+5.2
失業率(%)	3.8	3.8	3.7	3.7	3.7	3.9
平均時給(前年同月比、%)	4.5	4.3	4.3	4.3	4.4	4.3

(ご参考) 非農業部門雇用者数増減と失業率の推移

